



スキルアップ補助金利用内容について 東北アジア研究センター・金 賢貞

・目的

「Association for Asian Studies」主催の
AAS-in-ASIA conference (Kyoto, 2016)に
おけるパネル発表

・旅程

- 2016年6月23日
仙台駅→(鉄道)→東京駅→
(鉄道)→京都駅
- 2016年6月24日～26日
AAS-in-ASIA conferenceに参
加
- 2016年6月27日
京都駅→(鉄道)→東京駅→
(鉄道)→仙台駅

・講演等内容について

AAS-in-ASIA conference (Kyoto, 2016)では「The Futures of Communities and Intangible Heritage: Social Pressures and Local Responses in Korea, Japan, and China」というパネルを、韓国高麗大学のCedar Bough Saeji博士(オーガナイザー兼発表者)、米国カリフォルニア州立大学William Nitzky博士、韓国芸術総合学校Yang Jongsung博士(討論者)とともに組み、私は「Who Needs the Shishifuri Lion Dance?: Interpretations and Changes to Intangible Cultural Heritage after the Great East Japan Earthquake」というテーマで発表した。

・本制度を利用することによって得られた効果

本パネル発表により、東アジアにおけるローカルな文化遺産とコミュニティに関する文化人類学・民俗学的研究の深化だけでなく、無形文化遺産の保存・活用をとおした東アジア地域間の協力・連携の推進にも寄与できたと評価している。さらに、米国のUniversity of Wisconsin-MilwaukeeのNam Kim博士やシンガポールのNanyang Technological UniversityのHyunjung Lee博士などとも交流し、さらに国際的な共同研究への発展が見込めた点も特筆に価する。

・研究内容紹介

- 現代韓国におけるダークツーリズムとナショナリズム
- 日韓の文化財保護制度
- 災害と地域社会のガバナンス・ローカル文化